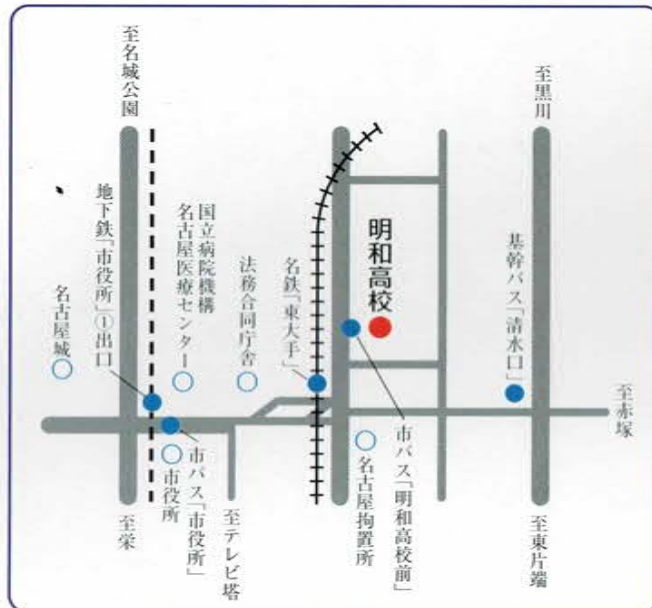


 愛知県立  
明和高等学校

〒461-0011 名古屋市東区白壁二丁目32番6号  
TEL:052-961-2551 FAX:052-953-6348  
ホームページ <https://www.meiwa-haichi-c.ed.jp/>



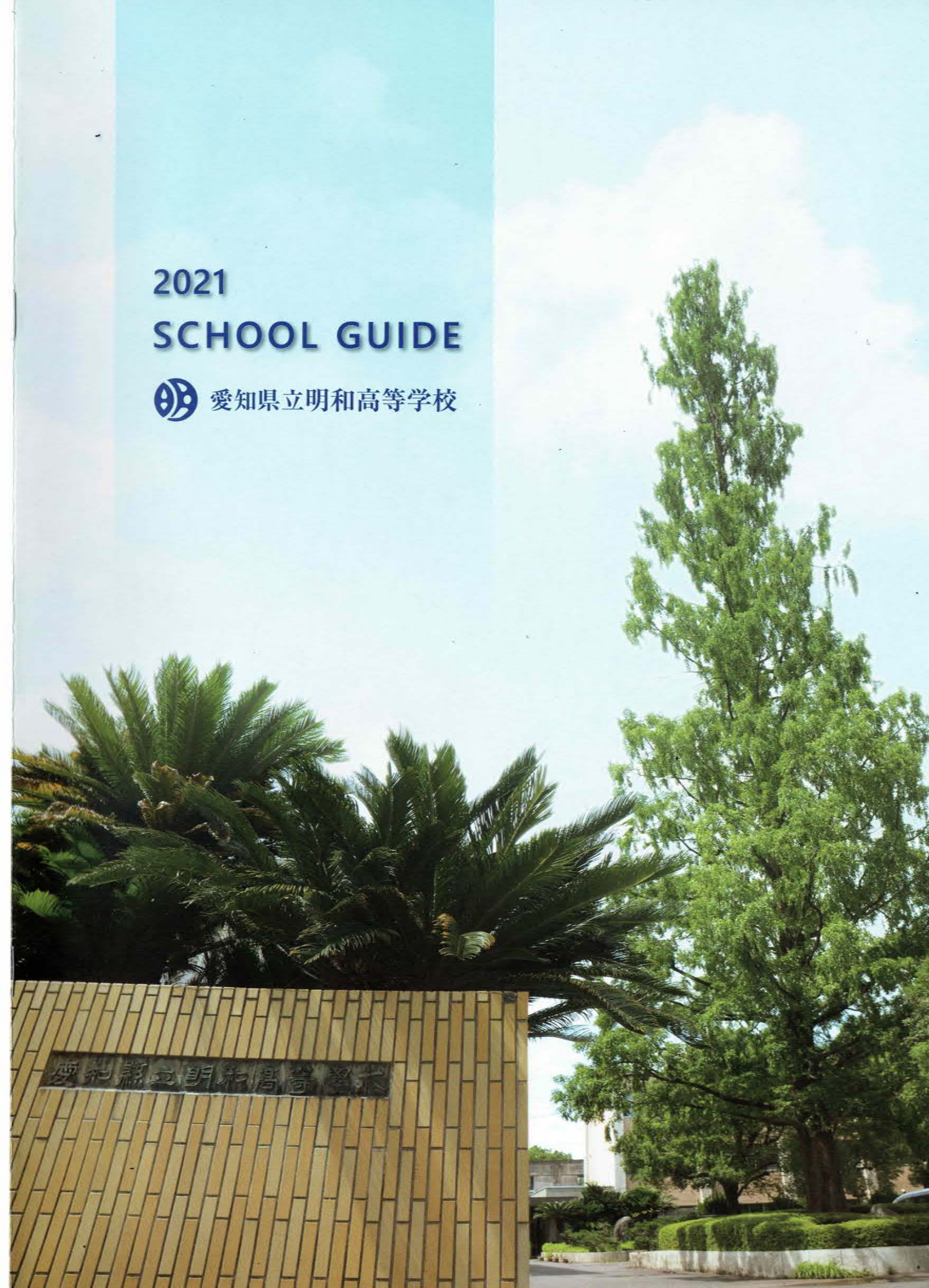
●アクセス

- ・名鉄・瀬戸線「東大手」  
県庁・市役所方面出口から東へ徒歩約1分
- ・名古屋市営地下鉄・名城線「市役所」  
1番出口から東へ徒歩約5分
- ・名古屋市営バス「市役所」、「清水口」または  
「明和高校前」下車

2021

SCHOOL GUIDE

 愛知県立明和高等学校



小林 誠 博士  
1963年、昭和38年明和高校卒業  
ノーベル賞受賞記念碑  
2008年12月10日受賞

"for the discovery of the origin of the broken symmetry which predicts the existence of at least three families of quarks in nature"

CP-Violation in the Renormalizable Theory of Weak Interaction

$V_{ud}V_{ub}^* + V_{cd}V_{cb}^* + V_{td}V_{tb}^* = 0$



校長 木村 誠

## 伝統とともに未来へ

本校は、天明3年(1783年)に徳川宗睦により開かれた尾張藩校「明倫堂」と、明治36年(1903年)に愛知の女子教育の先駆けとして開校した「愛知県立高等女学校」を前身とする、県内随一の歴史をもつ学校です。この学舎から、2008年にノーベル物理学賞を受賞された小林誠博士をはじめ、世界の発展に貢献する多くの有為な人材が巣立っています。

明倫堂の初代校長を務めた細井平洲は、驕ることなく謙虚に自らの生活を律することを説きました。これが本校の校是「自主自立」の源流です。自主自立は高校生にとって高度な目標です。自ら考え主体的に行動できる人となるためには、豊かな知性と人間性を養うとともに、社会の一員として自らが果たすべき役割の自覚と責任感、そして行動力を身に付けることが求められます。本校の生徒は、日々の学習や部活動、学校行事に全力で打ち込むなかで、これらの力を鍛え、磨き、その主体的な活動を通して、次代を担うリーダーとしての資質能力を育んでいます。

本校は平成23年度から、文部科学省のSSH(スーパー・サイエンス・ハイスクール)の研究指定を受け、大学や研究所とも連携した独自の教育課程を設けて、「探究心」と「創造力」の育成に学校全体で取り組んでいます。また、県立高校唯一の音楽科では、60余名に及ぶ一流の指導陣が生徒個々の力を引き出し、毎年輝かしい実績を積み重ねています。

明和高校の校歌は、「世界の空と呼び交わす」「明日の歴史をつくる」と謳っています。本校の生徒諸君には、総合的な知性を身につけながら、自らが世界の未来を切り拓いていくという大きな志をもち、視線を高くして、自分自身の可能性に果敢に挑戦してもらいたいと願っています。

### 歴史と伝統が息づく学舎

本校は、旧尾張藩の藩校である明倫堂の伝統を受け継いだ明倫中学校と、愛知県立第一高等女学校を前身とし、昭和23年に男女共学の愛知県立明和高等学校として、名古屋城及び官庁街に隣接する恵まれた環境の地に設立されました。

- (1783) 天明3年 徳川宗睦、藩校として明倫堂を興し(現在の名古屋東照宮の地)、細井平洲を初代総裁(督学)とする。
- (1899) 明治32年 私立明倫中学校設立。(校主 徳川義礼)
- (1903) 明治36年 愛知県立高等女学校設立(後の愛知県立第一高等女学校)
- (1919) 大正8年 私立明倫中学校、愛知県へ移管。
- (1948) 昭和23年 学校統合により2校が、愛知県立明和高等学校となる。
- (1950) 昭和25年 音楽科設置。
- (2008) 平成20年 小林誠先生(昭和38年卒)ノーベル物理学賞受賞。
- (2011) 平成23年 文部科学省より第I期SSH(スーパーサイエンスハイスクール)の研究指定を受ける。
- (2015) 平成27年 本館東部分新築。
- (2017) 平成29年 文部科学省より第II期SSH(スーパーサイエンスハイスクール)の研究指定を受ける。



# 第Ⅱ期スーパーサイエンス ハイスクール(SSH)指定校として

## ●社会貢献に必要な「質の高い探究心」の涵養

グローバル化社会で活躍する科学系人材の育成を目指した探究心の質的向上を図る課題研究の指導法の確立と、探究活動における生徒の変容を捉える客観性の高い評価法の開発に取り組んでいます。



## スーパーサイエンスハイスクール(SSH)指定校とは

将来の国際的な科学技術人材を育成することを目指し、文部科学省が理数系教育に重点を置いた研究開発を行う高校を指定する制度です。

第Ⅰ期では、「科学の方法」の習得と「総合的な知性」の育成を目標として取り組み、大きな成果をあげることができました。第Ⅱ期では、これから先の不透明な時代を生き抜いていくために、自ら課題を発見し、調査・実験を通して結論を導く課題研究を教育課程の中心に据え、「質の高い探究心」の涵養を目指しています。

本校では、一つの目標を成し遂げていくためには協働性が大切であると考え、課題研究の中においてリーダーシップやフォローシップを身に付けることにも重点を置いています。

私たちは、課題研究を通して一人の社会人としての素養を身に付けさせるために、常に先を見据えた先進的な教育活動に取り組んでいます。

## 課題研究を支える学校全体の取り組み

### SSH 理数科目

1年 SSH 数学X $\alpha$  SSH 数学Y $\alpha$  SSH 生物 $\alpha$

2年 SSH 数学X $\beta$  SSH 数学Y $\beta$  SSH 物理 $\alpha$   
SSH 化学 $\alpha$

3年 SSH 物理 $\beta$  SSH 化学 $\beta$  SSH 生物 $\beta$

### SSH 探究科目

1年 課題探究基礎(MC)

2年 課題探究 SSH 言語探究 $\alpha$

3年 SSH 言語探究 $\beta$  SSH 理科探究

### SSH プログラム

「数学夏の学校」：他校の生徒との交流による探究心を育成

課題探究入門講座：様々な実習体験や大学・研究機関訪問を通し課題研究に必要な基礎知識を習得

課題探究自主講座：課題研究に関する準備を進め研究内容の質的向上

探究活動ガイダンス：探究活動の導入、基調講演を通じ創造的発想力の体得

SSH 記念講演：科学者から探究のエッセンスを学ぶ

SSH 研究成果発表会（ポスター発表・口頭発表）：1年間の研究成果を校外に発信する

### SSH 特別活動

SSH 部数学班、物理・地学班、化学班、生物班をはじめ、各種研究プロジェクトでの研究活動

### SSH 国際交流 海外での研修、課題研究成果の発表

英国海外研修：ウェストミンスター校訪問 等

オーストラリア海外研修：ポーカムヒルズ校訪問 等

※2015・2017・2019年3月に英国研修

2014・2016・2018年3月にオーストラリア研修を実施

(2020年2021年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)

今後も、隔年で実施予定

グローバルサイエンス交流会：英語での研究発表

### 企業・大学・研究機関等の連携

東京大学理学系研究科、名古屋大学大学院経済学研究科、名古屋大学大学院情報科学研究科、名古屋大学大学院多元数理科学研究科、名古屋大学大学院工学研究科、名古屋大学大学院理学研究科、名古屋大学博物館、愛知教育大学理科教育講座、京都大学数理解析研究所、京都大学大学院生命科学研究科、京都大学霊長類研究所、高エネルギー加速器研究機構(KEK)、南洋理工大学(シンガポール)、UCL(英国)、シドニー大学、CSIRO(シドニーの研究機関)、琵琶湖博物館、豊田中央研究所、浜松ホトニクス、京セラ株式会社 等

### ●探究活動ガイダンス(4月)



日本モンキーセンター所長 伊谷 原一氏  
SSH 基調講演「アフリカでフィールドワークする」



日本モンキーセンターでの行動観察

### ●SSH 特別活動



研究成果の発表(オンライン)

### ●SSH 研究成果発表会(5月)



SSH 探究「課題探究」ポスター発表



SSH 部による研究成果の発表

### ●SSH 記念講演(10月)



東京大学宇宙線研究所附属重力波観測研究施設(KAGRA)  
施設長・教授 大橋正健氏  
「アインシュタインが考えた時空を重力波で観測する」

### ●SSH 夏の事業



つくば研修 高エネルギー加速器研究機構(KEK)訪問  
本校OB 小林 誠氏の講義の様子



リモート東大研修



数学夏の学校  
「ロボットは数学の大学入試問題をどうやって解くか？」



課題探究自主講座「オープンデータの活用」



日本モンキーセンター・京都大学霊長類研究所  
一日研究員体験



課題探究自主講座

### ●SSH 海外研修(英国研修)



ウェストミンスター校訪問 研究発表

### ●SSH 海外研修(オーストラリア研修)



ポーカムヒルズ校訪問 研究発表

### ●国際交流講座(7月)



グローバルサイエンス交流会

## 教育目標

平和にして民主的かつ文化ゆたかな国家社会の有為な形成者として必要な資質の向上を図る。特に、広い視野からものを考え、自主的精神にみち、自立的に生活できる心身ともに健康にして情操豊かな国民の育成を期する。

## 教育課程

普通科1年	国語総合	地理A	現代社会	SSH数学Xα	SSH数学Yα	SSH生物α	体育	保健	芸術	コミュニケーション英語Ⅰ	英語表現Ⅰ	家庭基礎	HR	総合		
普通科2年	古典B	SSH言語探究α	世界史A	日本史B	SSH数学Xβ	SSH数学Yβ	SSH物理α	SSH化学α	体育	保健	芸術	コミュニケーション英語Ⅱ	英語表現Ⅱ	課題探究	HR	
文系普通科3年	現代文B	古典A	古典B	世・日・地より選択	左記以外C政経+倫理より選択	数学総合A	数学総合イ	物化・生より2つ選択	体育	コミュニケーション英語Ⅲ	英語表現Ⅲ	英語表現Ⅲ	英語表現Ⅲ	HR	総合	
理系普通科3年	現代文B	古典B	世・日・地政経+倫理より選択	数学Ⅲ	数学総合ウ	SSH化学β	SSH物理β・SSH生物βより選択	SSH選択	体育	コミュニケーション英語Ⅲ	英語表現Ⅲ	英語表現Ⅲ	英語表現Ⅲ	HR	総合	
音楽科1年	国語総合	地理A	数学Ⅰ	体育	保健	コミュニケーション英語Ⅰ	家庭基礎	HR	総合	音楽専門科目(ソルフェージュ・作曲・演奏研究など)						
音楽科2年	現代文B	古典B	世界史A	科学と人間生活	体育	保健	コミュニケーション英語Ⅱ	HR	総合	音楽専門科目(ソルフェージュ・作曲・演奏研究など)						
音楽科3年	現代文B	古典B	現代社会	物理基礎	体育	コミュニケーション英語Ⅲ	英語表現Ⅲ	情報の科学	HR	総合	音楽専門科目(ソルフェージュ・作曲・演奏研究など)					

## 主な大学合格者数

現在各学年、普通科8学級、音楽科1学級の約1080名の生徒が学んでいます。生徒の学習意欲は旺盛で、全員が大学進学を希望しています。国公立大学を中心に第一希望を大切に、普通科・音楽科ともに意欲的に進路実現に取り組んでいます。

	学校名	令和3年度		令和2年度		平成31年度	
		合格者数	進学率	合格者数	進学率	合格者数	進学率
関東	東京大学	10	7	6	1	10	5
	一橋大学	3	3	5	4	4	2
	東京工業大学	0	0	2	0	1	1
	横浜国立大学	7	4	6	5	1	1
	筑波大学	2	1	3	3	3	2
	慶應義塾大学	8	6	19	2	25	3
	早稲田大学	13	6	34	12	52	17
	中央大学	7	3	39	11	28	4
	東京理科大学	32	14	59	10	32	7
	上智大学	8	6	4	3	1	0
	津田塾大学	0	0	3	2	2	0
	明治大学	27	12	39	13	53	12
	東京芸術大学	5	4	4	4	4	3
	国立音楽大学	3	2	2	1	3	3
	桐朋学園大学	7	7	4	4	4	3
	東京音楽大学	5	3	1	1	9	9
中部	名古屋大学	61	49	72	53	71	46
	名古屋工業大学	25	19	25	13	22	14
	愛知教育大学	8	7	12	11	3	3
	岐阜大学	8	4	9	5	5	0
	三重大学	6	4	7	3	8	5
金沢大学	3	3	2	2	5	2	
中部	愛知県立大学	3	3	5	4	3	2
	名古屋市立大学	22	14	22	17	18	6
	南山大学	141	112	188	123	106	59
	愛知県立芸術大学	14	13	9	8	8	8
	名古屋音楽大学	10	10	14	12	11	10
	京都大学	25	19	29	11	14	5
	大阪大学	4	2	17	6	8	3
	神戸大学	13	12	10	3	6	4
	奈良女子大学	3	3	1	0	0	0
	同志社大学	68	37	104	44	111	31
関西	立命館大学	72	39	123	34	119	41
	関西大学	5	1	15	6	9	2
	関西学院大学	11	8	12	5	9	2
	東北大学	8	7	4	2	2	0
北海道	北海道大学	8	4	7	4	2	0
	広島大学	1	1	2	1	3	2
四国	九州大学	1	0	3	1	2	1
	九州大学	1	0	3	1	2	1
国立大学合格者数 計		226	169	255	144	194	112
公立大学合格者数 計		50	35	49	36	41	21
私立大学合格者数 計		739	437	1127	536	876	336

## 年間行事

	4	入学式 前期始業式 新入生歓迎会 生徒会役員選挙 健康診断 体力テスト SSH探究活動ガイダンス	10	遠足 生徒会役員選挙 進路集会 実力考査 SSH記念講演
	5	PTA総会 全校集会 教務進路集会 SSH研究成果発表会	11	音楽科定期演奏会オーディション 定期考査
	6	定期考査 PTA学年別懇談会 クラスマッチ	12	音楽科第70回記念定期演奏会 保護者会 文化部 冬の公演
	7	保護者会 修学旅行 音楽科サマーコンサート 実力考査 部会宿舎 学力補充講座/SSH夏の事業	1	実力考査 3年定期考査 音楽科公開実技試験(3年)
	8	学力補充講座 SSH夏の事業 全校出校日 音楽科夏季レッスン	2	予餞会 1・2年定期考査 音楽科公開実技試験(2年)
	9	教務進路集会 定期考査 学校祭 PTA学年別懇談会 前期終業式 後期始業式	3	卒業証書授与式 クラスマッチ 2年生課題研究発表会 後期終業式

## 部の活動・施設

文武両道の精神で熱心に活動しています。陸上・弓道・剣道・SSH・美術・将棋・放送の全国大会、ソフトテニス・水泳の東海総体出場を始め、多くの部が県大会以上に出場しています。

### 運動部

- 陸上
- 水泳
- 弓道
- 柔道
- サッカー
- ラグビー
- バレーボール
- ハンドボール
- バスケットボール
- 野球
- 卓球
- バドミントン
- テニス
- ソフトテニス
- トレッキング

### 文化部

- SSH
- 英会話
- 吹奏楽
- 合唱
- ACM
- PM
- 書道
- 茶華道
- 美術
- 図書
- 放送
- 文芸
- 写真
- 将棋
- 料理
- 漫画研究

## 学校施設

都心にもかかわらず、グラウンドや体育館を始め、弓道場・武道館・プール等多くの施設が部活動で広く利用されています。また、多目的広場等のゆとりの空間も多く用意されています。



- 音楽棟
- 図書館
- 多目的広場
- 定時制食堂
- 明和館
- グラウンド
- 明光館/プール
- テニスコート
- 弓道場

